

令和2年度 第2回鹿児島市男女共同参画審議会 会議概要

日 時	令和2年12月17日(木) 14時30分～16時00分
場 所	サンエールかごしま 5階 特別会議室
出席者	委員16名 事務局5名
(委員)	山田委員(会長)、石走委員、大石委員、大重委員、川崎委員、黒岩委員、小嶋委員、曾田委員、瀧川委員、竹田委員、竹林委員、花田委員、福島委員、藤田委員、松野委員、村山委員
(事務局)	(欠席：笹川委員(副会長)、中崎委員、三輪委員、渡委員) 市民文化部長、男女共同参画推進課長、同課係長ほか2名
会次第	1 開会 2 議事 (1) 男女共同参画に関する市民意識調査の結果について (2) 第3次男女共同参画計画の策定について ①計画の概要と策定スケジュール ②第2次鹿児島市男女共同参画計画の事業実績と評価 ③国・県・市の男女共同参画計画 3 女性活躍アドバイザーとの意見交換 4 閉会
議事概要	<p>2 (1)</p> <p>○調査項目が多いので、全国調査と比較できるものに絞っても良いと思う。</p> <p>○性別役割分担意識が劇的に変化しているがどんな政策が功を奏したと思うか。</p> <p>●啓発というものは成果が見えづらい事業であり、とにかくできることを諦めずにやっていくことだと思う。ただ、女性活躍推進法などの整備により、環境が変わっていったことは一因ではないかと考える。</p> <p>2 (2)②</p> <p>○自治会長や小中高の校長等の女性の割合は増えていないが、所管課と連絡を取ったり、具体的に何か動いたりする予定はあるか。</p> <p>●結果については担当課に情報提供する。地道に啓発を続けていくしかないのが現状。</p> <p>○「家族経営協定」の目標を戸数で表しているが、市の家族経営農家戸数等を母数とした比率を指標とした方が実態を把握しやすいのではないか。</p> <p>また、「男女共同参画の推進に関する国際社会との協調」については、数値目標を設定するのはかなり難しかったと思うが、SDGsでの「ジェンダー平等」が市民意識として理解されているかをモニターする形での数値目標など検討してはどうか。</p> <p>○防災分野について、男女共同参画の視点が不可欠としながら具体的な施策が見えない。避難所の問題等もっと積極的に考えた方が良いのでは。</p> <p>●防災関係の施策でトップシティを目指していることもあるので、避難所についても全国に誇れるような運営ができるよう、関係部署と連携しながら進めていきたい。次期計画で、指標として反映できるものはないか今後考えていきたい。</p> <p>○何故育休をとれないと思うか学生にアンケートを取ると「休んでいる間の人を確保を企業がしてくれないと休みにくい」というものが多かった。企業側にそういう体制づくりをお願いすることも必要。</p> <p>3</p> <p>◇女性、管理職、両方の意識を変える研修を続けてきたが、トップが変わらないと浸透しない。「女性活躍」をあきらめずに言い続けることが大切。「女性の」というのがなかったために気付かなかったことがたくさんある。一人が言うよりも住民がいろんな人たちに声を出していったらどんどん広がっていくと思う。</p>